

川 上 社 長
年 頭 挨 拶



あけましておめでとうございます。
皆さんと今年もこうして新しい年を迎えられました事を感謝しています。

年末年始は、少し体を休める事が出来たでしょうか？
年間を通じて休日が増えてきているとは思いますが、まだまだ他の業種に比べれば休日が多い方では無いので、休める時はしっかりと体を休めて頂きたいと思っています。

さて、まずは昨年度の営業結果です。

総売上は「約 35 億 6 千万円」 前年度比で約 2 億 2 千万円の増収
これを前年より 2 名少ない、277 名で売り上げて頂きました。

皆さんが効率良く動いてくれた事と、お客様への運賃値上げ、及びコースの変更が実を結んだ結果だと思えます。
特に運賃交渉においては、数年前でしたら運賃の値上げやコースの作業内容改善を求める交渉をしようとする、相手方より「じゃあ、他の業者にやってもらいますから、手を引いてくれていいですよ。」と、交渉の内容を聞いてもらえるところまでも中々たどり着けない状況にありましたが、近頃は、多くの業者が人手不足により今の仕事を維持するのがやっとで、とても新たな取り組みに手が回らない状況から、「何処も人がいなくて代わりがいませんので、どうすれば続けてもらえますか？」と、交渉しやすい状況になってきています。

しかし、当社においては皆さんを見て働きやすいと感じてくれた方や、会社の規模に安心感を得て応募してくれた方のお陰で、人員確保がしっかりできており、強気の営業が出来ています。

それに加えて、当社では「当たり前のこと」が「当たり前出来る」ドライバーが揃っている事が、尚のこと交渉を安易にしてくれました。
「当たり前のこと」それが出来るって素晴らしいと思います。

いちいち言われなくても、「置いたら邪魔だろう」という所に荷物を置かないとか、「こうして置いておけばお客様が次の作業をし易いだろう」と、お客様の気持ちになって荷物を渡すという行為が自然とできていて、どこの現場でも皆さんが、大成運輸を知らぬまに宣伝してくれ、現場から「大成運輸に任せたい」という声が、お客様の管理者に伝わり、お陰様で営業に回って「値上げは良い

けど、しっかりやってね。」なんて恥ずかしい事を言われること無く、「現場は大成さんに任せたいと言っているよ。」と、とても嬉しい言葉を頂きます。

結局、皆さんの毎日の行動が、とても大きな武器であると同時に、やはり皆さん一人一人が大成運輸の代表であることを改めて思い知らされます。

そのような状況の中、お陰様で今期の利益は、燃料費が年間を通じて、前年より約15円程度高い中でも（因みに前年より約1億1千万多く出て行っていますが。）それでも経常利益で約4,150万円を残す事が出来ています。

本当にご苦労様でした。すごく頑張って頂いた数字だと感謝しています。

しかし、一方で油断も出来ません。
4千万円という大きな数字のようですが
全社員277名でこの利益を割ってみると、
一人年間約14万5千円、
月に直すと僅か一人、約1万2千円を残したという事ですから、
いかに一人一人の経費の使い方が大切になるか考えさせられますね。



交通事故はもちろんのこと、商品事故、特にその中で今年はフォークリフトの操作ミスによるものと、お客様構内での施設や駐車中の車両への接触が目立ちました。

そして事故の内容をよく見てみると、そのほとんどが安全を確認した後に動くのではなく、安全を確認しながら動いてしまい、「あっ」と思った時には間に合わず、何かにぶつかってしまうというものでした。

皆、そういう事は分かっているけど「癖が付いていない」ので動いてしまった結果ですね。

癖になっているといえは、身近なものではシートベルトですね。最初の頃は意識しないと締め忘れる事があったと思いますが、今では癖になっているので、いつの間にか乗ったら締めています。また家の鍵もそうですね、いつも意識しないで鍵を掛けているので、時折、「鍵かけたかな？」と出先で不安になることがあります。帰ったらちゃんと閉まっていたなんて経験ありませんか、意識しなくても癖になっているので、ちゃんと掛けているのですね。

そのように安全確認も、癖にしておく事がとても重要だと思います。

そこで今期は管理者に安全パトロールに積極的に出てもらい、皆さんと一緒に、現場での安全確認が当たり前出来るように徹底して行きたいと思いますので頑張っていきましょう。

さて、次にドラレコについてですが、3年前に導入して以来、大きな事故は昨年1件だけ。これは本当に残念でした。昨年の新年あいさつで、大きな事故と言えば低速車両への追突くらいですよ、と言っていたら実際に起こってしまい約1千万円の損失が発生しています。しかし、会社全体としての交通事故は減少傾向にあり、特に交通違反は約半数と激減しています。

またそれに比例して、当社のSD取得率は92.1%と高い水準で推移しています

なんだかんだとやかましい事を言いますが、確実に結果はついて来ているので、引き続き指導は継続していきます。

しかしドラレコの運用については、一定の良い結果が出ている事も有り、このままの状況が続くのであれば運用の検討、それに係る処罰の見直しを行っても大丈夫では無いかと感じています。

いつも言っていますが、当社の車を知っている方は、毎日のように当社の車を見かけると言われます。言い換えれば、「大成運輸のトラックは気にして見ているよ。」と親近感をもって言っておられるのだと思います。

多くの方に親しみを持って見守られている大成運輸のトラックは、お客様にとっても身内のような存在だと思えます。

そのような気持ちで見られている当社トラックが危険運転、「いわゆる煽り運転や、だらしのない格好で運転している」というような事があれば、きっと見つけた方は、がっかりしてしまう事でしょう。

また万一そのような事があれば、一から、細かなチェックが再度必要な運用になってしまいますが、そのようなことは絶対に無いと私は信じておりますので、よろしくお願いします。

そしてそれに伴い会社として一層皆さんに安全に仕事をして頂けるように色々と努力していくつもりです。

特に昨年は西日本豪雨災害など大きな災害時に、会社からの指示が曖昧であっ

たため、一部の方は災害の中に飛び込まざるを得なくなってしまい、危険に大きくさらされる状況になった事を大いに反省しています。

今後は皆さんの安全を最大限優先し、お客様と密に連絡を取り、ドライバー任せの運行にならないように指示を出して行きたいと思っています。

また、高速道路での休憩の取り方についても、対策が必要だと認識していますし、速度を落とす事で全体の拘束時間が増えてしまう件についても、何かしらの対策を考えて行くことが必要となっています。

会社として皆さんに、あれこれと協力をお願いしている今日、「会社は、俺たちばかりに言ってから。」と不愉快な気持ちを皆さんに持たれないように気を引き締めて努力して行きますので、これからもよろしくお願いします。

最後に、今回は、皆さんに元気に働いていただきたいと健康管理についての講話「病院へ行こう！」と、深緑で知らせていました退職金制度の見直しについての説明を行い、給与明細と一緒に資料を添付します。

退職金制度の見直しは、少しでも頑張ってもらって働いていただく皆さんに答えるために、今出来る事と今年の4月を目途に考えており、良く話を聞いていただき、家に持ち帰って、家族と大成運輸で働く将来について少し考えてくれたらと思います。

そして無事健康に退職まで働いていただくために3年前に実施した「脳ドック」を今年また皆に受けてもらうつもりです。

そのような思いで今年のスローガンは。「車も身体も進んで点検」にしました。

蛇足になりますが、当社は一般の方々に直接荷物を手渡す機会が少ない拠点間輸送を主にやっていますから、あまり直接消費者に感謝される機会に出会えませんが、ドラッグストアや家電に携帯ショップ、色んなところで色々な商品が売られ、それを待っている方々が、欲しかったもの、どうしても必要な物、それがないと困る物を手に入れられる環境を支えています。

何かスーパーヒーローのように日本を救うような大きなことを私たちは出来ませんが、実は毎日何かと繋がって、毎日社会に確かに役に立っている。それが私たちです。

社会を支えている気概を持って「大成プライド。」大切にしていきましょう。

浦尾会長 年頭挨拶

2019.01.04.

皆さん、明けましておめでとうございます。
1年ぶりの挨拶ですが、初めての人も20名位居るのかな。

会社の業績については、川上社長から説明がありましたが、若干補足を。
売上について、城東運輸の売上が 7億3,000万円ありますので、
グループとしての総売上は 約43億円になります。

経常利益に不動産の売却益などをプラスして、
税引前利益がざっくり 5,000万円です。
それから税金 2,000万円を払って、3,000万円が残っています。
残った方を見れば、大型車両2台分だけですが、
払った税金の 2,000万円は、皆の協力で、
社会に寄与できた、貢献できたと思ってください。
ただ、当社の規模では、この2倍位の貢献で胸を張れる金額かな。

あと、「有給休暇取得の義務化」の話。今年の4月1日より、
「労働者ごとに時節を指定して、5日間の有給休暇を取得させる」
事が法律で決まっています。
今まで、「休むよりも、会社に行っとった方がいい。」と云って、
全く有給を取らなかった会社にとって大変ありがたかった皆さんも、
必ず休んでもらうようになります。

必要な有給休暇は今まで通りで構いませんが、そうでない義務化分については、
配車担当と打ち合わせながら、お願いするようになると思います。

皆さん、「働き方改革」って言葉は聞いたことがあると思います。
この有給休暇取得の義務化など、その一環で法律化されたものですが、
私は欲張りですから「働き方改革」は、時間とかだけじゃなくて、気分的な
「仕事を楽しむ改革」が伴わないと、幸せになれないと思っています。

「人は幸せに付いてくる」って、云われていますから、逆にいえば、
会社に「働く幸せ」が無ければ、会社には人は付いてこないことになります。
「働くのに、楽しいとか、幸せとか、一部の人の話じゃん。」
と、思いませんか？ 私も自覚がありません。

昨年、テレビの番組で「奇跡のレッスン」の女子サッカーの話をしましたよね。
他のシリーズ、ラグビー・野球・バスケット・水泳・サーフィン・ダンス・合唱・
吹奏楽・ミュージカルなどのどのコーチも一様に、苦しい練習なのに
「楽しめ！」って言ってます。
一流アスリートの人達も、「楽しんできます」って言葉、多いですね。
そして、終わっての、周りの人たちへの感謝の言葉とセットで。

どうも、色々な行動に「楽しむ」って要素を見いだせると、
本来の力、もしくはそれ以上の力が、出てくるんじゃないかと思っています。
「楽しむ」って同じ漢字だから「楽（らく）」に、なるのかな。

ただ、私も自覚がないので、皆さんに「仕事をこうしたら楽しめる」って、教えられないので「経営者の教科書」という本の中から抜粋して読みますね。

- 良い仕事
- ①お客様が喜ぶこと ……お客様から、ありがとう。
 - ②働く周りの仲間が喜ぶこと ……仲間から、ありがとう。
 - ③工夫すること

に集中していたら、従業員は楽しいのです。働きがいを感じるからです。

従業員が会社にルンルン気分で来られるのは、仕事が好きだからであり、ひいては、お客様第一や良い仕事を通じて、お客様や社会に貢献する事を自覚しているからに他なりません。

この教えの中で私と意見が違うのが、多くの人が「貢献していることを自覚していない」と思うのです。

特に当社の仕事は物流の流れの中で、川上と川下の最終消費者が見えない BtoB と云われる部分が多く、なかなか直接的にお客様から「ありがとう」の言葉を聞く機会が少ないですし、会社が皆さん一人一人の貢献を、認めたり、ほめたり出来ないのが実情ですが、良い仕事をして、しっかり貢献してもらっています。

せっかく、良い仕事をしたんだったら、自分が「お客様や社会に貢献してる」って思うだけで、楽しくなって、幸せになるって云うなら、思った方がいいやん！今年も、だまされたと思ってやってもらえませんか？

ちなみに、昨年、だまされて意識してみたって言ったのは、
「大成運輸の仲間は、私を援助してくれる。」
「私は、大成運輸の仲間にご貢献できる。」
「私は、大成運輸の仲間の一員である。」
この感覚が全ての困難から、あなたを解放するでしょう。

昨年に今年の話プラスして、皆さんが私にだまされる合言葉は、「仲間」と「貢献」です。
二つだけですから、テストはしません覚えてくださいね。

以前、何回もお伝えしていることですが、皆さんが働く「目的」は、会社のためではありません。
自分や家族を守るために働いています。
会社は、皆さんが幸せになるための手段で、一つの道具と思ってください。
ただ、道具はきちっと手入れをして、正しく使わないと、ストレスになりますよ！！

今年も1年、引続き宜しくお願いします。
ありがとうございました。

